

羽後牛ステーキで地元の受験生応援 町、中3生に提供



羽後町は、高校受験を控えた羽後中学校の3年106人を激励しようと、昼食に町特産の羽後牛ステーキを提供している。

4学級が1月31日からの4日間に分かれ、家庭科の授業で生徒自らが調理。初日の31日は、3年A組26人がサラダなどの副菜やスープを作ってから、約200グラムのサーロイン

ステーキを塩、こしょうで味付けし焼き上げた。生徒は焼きたてを頬張り「うまい」と喜んだ。

渡部遥さんは「脂が甘くて今まで食べたお肉の中で一番おいしい。受験勉強で疲れていたが、元気になってまた頑張ろうという気持ちになった」と話した。

ステーキの提供は、受験生を応援するとともに町特産品の良さを知って古里に愛着を持ってもらおうと、2017年度から実施している。

(湊文香)

(令和5年2月3日(金)秋田魁新聞より一部抜粋)